

ふるさと納税をして加西を応援してください。

加西市は、ふるさとを魅力的で元気なまちとするために行財政改革を進める一方、環境と景観のまちづくりに取り組んでいます。

加西の豊かな自然環境の中で育ち、今は都会などに住み働いている皆さん。ふるさと加西に何か貢献したい、役立ちたいと思いませんか？

今まで加西に縁がなかった方でも、一度加西を訪れた瞬間からその素晴らしさを実感され、ファンになっていただけたのではないのでしょうか。

ふるさと納税制度により、加西市にお金を寄付していただくと、5,000円を超える分が居住地の住民税などから控除されます。所得税（国税）で国に納付される代わりにふるさと納税によって、市民の皆さんの実質的なご負担を増やさない形でふるさと加西にご寄付いただけます。

加西市では、次のメニューを用意して、皆様からのご寄付をお待ちしています。

- | | |
|-----------------------------|-------------|
| ①CO ₂ （二酸化炭素）の削減 | ②新時代の公教育 |
| ③食と農の再生 | ④里山再生と田舎暮らし |
| ⑤水辺再生 | ⑥北条鉄道の永続 |
| ⑦鶏野飛行場の跡地利用 | ⑧加西時間を楽しむ |
| ⑨歴史遺産の修復・保存 | ⑩市長におまかせ |



詳細はふるさと納税専用ページへ
<http://www.city.kasai.hyogo.jp/furu>

寄付者には特産品をプレゼント。

ご寄付をいただきますと、税額控除に加えて、3万円まで年1回、5万円まで年2回、10万円以上で年4回、ふるさとの物産（加西米、加西ぶどう、トマト、日本酒、ワインなど）を贈呈します。

なお、それ以上の高額納税者には、その金額に応じて、別途、宿泊券、食事券、ゴルフプレー券、市長感謝状などをお贈りする予定です。

【問合せ先】 経営戦略室 ☎④8700

加西病院のコーナー

加西病院WEB サイト <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp/>

モラル・ハザードと患者-医療者パートナーシップ

最近「モラル・ハザード」という言葉を耳にします。本来は保険や金融業界で使用されたようですが、現在は「倫理・道徳の欠如、崩壊」といった意味で使用されます。

まさに、倫理の欠如というしかない子供への虐待、公的機関や企業の不祥事等々、世間を騒がしている事件には愕然とさせられます。モラル・ハザードには、相手への共感の欠如、思いやり、助け合いという態度・姿勢がないとされます。医療にもこのような事象が生じやすい素地があります。

医療は、かつてのパターナリズム（権威主義）から、病気と闘う患者と共に、対等な関係で支援する患者-医療者パートナーシップへと転換してきています。その一方で、モラル・ハザードといえる行動が見られるようになってきました。

救急のコンビニ化や社会的入院がその例でしょう。待たなくてよいからといった理由で深夜に病院を受診する救急コンビニ化は救急医療体制を壊します。

同じくらい困っているのが社会的入院です。急性

期の医療目標が達成され退院を促しても「人手の都合がつかない」とか「帰って悪くなったらどう責任を取る」と医療現場を困らせます。このような社会的入院がベッドを占拠すると重症な患者を受け入れられなくなります。そのために、病院職員は患者・家族の皆様には在宅療養や介護保険制度に係る情報を提供して、長年住み慣れた家や地域で生活できる様に支援しています。ご理解とご協力をお願いいたく存じます。

（病院長）



▲ 前年のホスピタルフェアの様様。

☆ホスピタル・フェア 6/28 (日) 9:00 ~ 12:00

加西病院では、市民みなさんと職員の交流を深めるため毎年ホスピタル・フェアを開いています。健康相談や講演など盛り沢山の催しです。

多くの方の参加をお待ちしています。☎④2200